

佐世保史談会 令和3年12月度

## 定例研究発表会のご案内

佐世保史談会会長 中島 眞澄

秋冷の候、皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

12月の定例研究発表会を下記の日程で開催いたします。

会員の皆様はじめ、市民の皆様のご来場をお待ちしております。

なお、新型コロナ感染状況によっては中止・繰り延べとなることもあります。その際はなにとぞご容赦をお願いいたします。

日 時 令和3年12月18日(土) 13:00~15:45  
会 場 佐世保市立図書館 3階視聴覚室  
(公共交通機関でお越しください)  
主 催 佐世保史談会  
参加費用 200円(資料代)

問合わせ先 廣田 昌 呂 氏 32-4464

### (1) 歴史講話 13:05~13:45

話 題 松浦党とは?

— 宗家松浦と平戸松浦の関係 —

講 師 松永 武保 (まつなが たけやす) 会員

### (2) 研究発表 14:00~15:45 (質疑等含む)

主 題 早岐瀬戸遺跡の発掘調査

— 海へ広がる早岐のまち —

長崎県埋蔵文化財センター 主任文化財保護主事

発表者 川畑 敏則 (かわはた としのり) 氏

長崎県埋蔵文化財センターが早岐瀬戸遺跡の発掘調査を始めて3年目になります。これまでの調査で、早岐のまちが埋立てによって少しずつ瀬戸へ向かって広がっていったこと、埋立ての後には町屋がつくられ賑わったことなどがわかってきました。今回はこれまでの発掘調査でわかったことを紹介します。



発掘作業



埋立て護岸